

## 東京歯科大学本館西棟建設に係る寄付金募集について

学校法人東京歯科大学  
理事長 水野 嘉夫  
東京歯科大学  
学 長 井出 吉信

東京歯科大学は、創立120周年記念事業の一環としてメインキャンパスを水道橋に移転し、平成25年9月に新水道橋キャンパスを開校してから2年が経過しました。水道橋キャンパスにて入学した学生も4年生となり、千葉キャンパスからの上級生と共に、水道橋の地で日々勉学に励んでいるところでございます。

この移転事業を滞りなく進めることが出来たのは、常日頃から熱い母校愛をもって本学を支えて頂きました同窓の皆様を始めとして、教職員、保護者、地域社会の皆様によるご協力とご支援の賜物であり、深い感謝と共に厚く御礼申し上げます。

現在、大学では水道橋校舎整備事業の当初計画に従い、水道橋校舎本館の西側に、本館に接続する西棟の建設を開始しております。竣工後の主な用途は臨床教育の現場である水道橋病院の拡張、あるいは臨床実習学生が学習を行うためのスペースであり、現在新設を目指している歯科衛生士の短大教育でも利用いたします。これらの教育環境の整備は、本学が建学の精神に従って良質な歯科医師を輩出するための「教育の質的向上」に必要な事業であると位置づけ、大学の総力を挙げて取り組んで参ります。

しかしながら、少子化による就学人口の減少など、私立学校が直面する経営環境は一段と厳しさを増している一方で、東日本大震災の復興事業や東京オリンピックに向けての建設需要増加などの影響により、建設費は著しく高騰をしている現況です。

東京歯科大学が教育、研究、臨床において歯科界を先導する大学として存在し続けるためには、より安定した財政基盤の確保が求められます。

つきましては寄付金の趣旨にご賛同賜り、同窓、教職員、保護者、地域社会の皆様からの温かいご支援、ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。